

## きりたんぼラウンド in Akitaの報告

R05. 1. 7

秋田市中央市民サービスセンター  
秋田県事務局

令和5年ラウンドの幕開けとなる「きりたんぼラウンド」は、県内外を含め30名を超える参加をいただきました。学校、教育委員会、大学生といった多様な参加者が集いました。また、県外から参加いただいた方々には、佐藤先生・高橋先生よりお力添えいただき、オンラインにより情報共有させていただきました。窓の外は雪でしたが、当日は、ラウンドの目的にある「学校体育の充実に向けた熱い語り合い」が行われました。

### 1 実践発表「学習指導要領の趣旨を踏まえた県内における授業実践の発表」

○能代山本教育研究会体育部会 三種町立山本中学校校長 畠山 芳先生

三種町立琴丘小学校教諭 近藤 孝昭先生

○横手市学校体育研究会 横手市立横手南中学校教諭 伊藤 克史先生

- ・秋田県では、学校体育に関する指導の充実等を目指し、2年に一度、県学校体育研究大会を開催しています。令和6年度に大会を開催する能代山本教育研究会体育部会からは、研究主題の「主体的に課題を発見し、他者と関わり合いながら粘り強く挑戦する体育学習」による実践について発表をしていただきました。発表で示されていたキーワードから、学習指導要領の趣旨を踏まえた実践が進められていることや、体育研究会の先生方の熱心な姿勢による研究体制がしっかりと確立されていることを強く感じました。
- ・横手南中学校は、秋田県のICTを活用した授業改善支援事業推進校です。ICTを効果的に活用して、「自ら学びを拓く生徒」を育成することを目指し、学びの自覚を促す单元デザインと学びの質を高める言語活動を重点に、ICTの効果的な活用の在り方についての実践研究に取り組まれているといった内容の発表をしていただきました。重点の取組を進めるに当たり、ICT活用は手段であり、目的ではないことを教科担当者間で共有し授業実践していることや、目指すべき生徒の姿を明確にしながより効果的な活用法を検討していることなど、同校の先生方の創意工夫した授業づくりや授業力の向上を目指す意欲的な姿勢が窺えました。

### 3 ワークショップ「思考・判断・表現の努力を要する生徒への支援（手立て）を考える」及び「まとめ」

○桐蔭横浜大学 教授 佐藤 豊先生

○日本女子体育大学 教授 高橋 修一先生

「思考・判断・表現」はどのように見取り、評価すればよいか」という素朴な疑問から、今回のワークショップの内容の検討がはじまりました。

佐藤豊先生から、思考・判断・表現が苦手な児童生徒が抱える課題（どこに課題があるのか）について、授業づくりの観点から解説をいただいた後、解説に示されている例示に関する四つ課題場面における想定される事例や手立てについてグループで協議しました。

「どのように評価するのか」の前に、「何を指導するのか」が大事であり、そのためには、思考力、判断力、表現力等の指導内容をしっかりと押さえるとともに、どのような子供の学びが展開されるかをイメージした授業づくりが大切であることを改めて感じたワークでした。

高橋修一先生のまとめでは、思考力・判断力・表現力等を含めた三つの資質・能力の育成を目指した授業づくりに当たっての学習指導要領の考え方や今回実践発表した研究会への具体的な助言をいただきました。

具体的な場面や事例を交えたまとめに、参加者から、「明日から即実践できることをいただいた」といった声がたくさん聞かれました。



講師の佐藤先生、高橋先生、発表者の畠山先生、鈴木先生、伊藤先生そして参加者の皆様のご協力のおかげで、今年度も有意義なラウンドに終わることができました。本当に、ありがとうございました。【事務局】